

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年02月01日

計画の名称	産業を支えるやまぐちのみちづくり												
計画の期間	令和05年度 ~ 令和09年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	山口県												
計画の目標	産業力・観光力の強化を支援するため、各拠点からインターチェンジ、駅、港湾等へのアクセス道路を整備することにより、物流等の迅速化・円滑化や観光客の利便性の向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,970	A	1,970	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R9末
1	各拠点からインターチェンジ、駅、港湾等へのアクセス道路を重点的に整備することにより、事業区間内の移動時間を1分短縮する。 事業区間内の各拠点からインターチェンジ、駅、港湾等へのアクセス短縮時間を算出する。 短縮時間(分) = (現況の走行時間(分)) - (整備後の走行時間(分))	0分	分	1分
2	計画期間内の道の駅のベビーコーナーの設置、妊婦向け屋根付優先駐車スペースの確保や衛生環境を改善することにより、子育て応援等の道の駅の機能の改善率を100%にする。 計画期間内の道の駅の機能の改善率を算出する。 道の駅の機能の改善率(%) = (機能を改善した道の駅の数 / 機能の改善が必要な道の駅の数)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R05	R06	R07	R08	R09					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	A01-001	道路	一般	山口県	直接	山口県	国道	改築	(国)490号・宇部拡 幅	現道拡幅 L=6.0km	宇部市						1,670	1.3	-		
	A01-002	道路	一般	山口県	直接	山口県	国道	改築	(国)187号他 道の 駅改築	道の駅改築	県内一円(国道 )						150		-		
	A01-003	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	(主)下関長門線他 道 の駅改築	道の駅改築	県内一円(地方 道)						150		-		
												小計						1,970			
												合計							1,970		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 産業を支えるやまぐちのみちづくり

事前評価		チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等		
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。		○
I. 目標の妥当性 整合を図っている上位計画名を記載。 やまぐち未来開拓ロードプラン		
I. 目標の妥当性 2) 広域的な道路計画や災害リスクが勘案されている。		○
I. 目標の妥当性 目標の客観性・具体性・地域性		
I. 目標の妥当性 1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。		○
I. 目標の妥当性 2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。		○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等		
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果		
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。		○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。		○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性・円滑な事業執行の環境		
III. 計画の実現可能性 1) 計画・事業の熟度が十分である。		○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施のための環境整備が図られている。		○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

3) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。

○